

蒲生中学校(始良市) 新聞作りで理解深める



「平家物語新聞」を披露する生徒ら

国語の古典学習で新聞作り挑戦し、まとめる力や調べる力を育成した。2年生が1人1枚ずつ、A4判の「平家物語新聞」を作った。

りて調べ、「アンビリーバボーな奇襲攻撃」と見出しを付け、馬のイラストを添えた。「歴史にも興味かわいた」という。

吉留教諭は「きちんと調べる生徒が多かった。形にすることで理解が深まり、発展学習につながった」と話す。

授業では、平敦盛が熊谷直実に討たれる場面を習う。吉留教諭は「平家物語には那須与一など、ほかにも有名な場面がある」とアドバイス。2年の松尾侑佳さんは、源義経が崖を一気に駆け下りる「鴨越」を取り上げた。図書室で本を借

に取り組んだ。各校が進める独自の活動や授業を数回に分けて紹介する。

鹿児島県内で2018年度、NIE（教育に新聞を）実践校に指定された小学校6校、中学校6校、高校1校の計13校が新聞を使った授業など

かごしま NIE実践校



新聞を読み、エイズへの考えをまとめる生徒



「NIEタイム」で課題に取り組む児童

大口明光学園中学校(伊佐市) 教科書補い 考え多様に

3年生の保健体育の授業では世界エイズデーを取り上げた新聞記事を参考に、生徒それぞれが、エイズに向き合う考えをまとめた。教科書に加え、エイズへの誤った認識が多いとする内閣府調査など新聞を併用し、多角的に考える力を養った。

実践校1年目。毎週1回、1面を読み、感想を150字程度でまとめる「朝しんぶん」を始めた。米軍普天間飛行場の辺野古移設への関心が高く、「沖縄の声を聞くべき」といった意見が目立った。感想文はNIEルームで誰でも読め、学期末には保護者に郵送した。NIE担当の知念慎教諭は社会の授業で活用。「新聞は今の社会情勢を知り、話題づくりに良い」と話した。（浦牛原健）

国分小学校(霧島市) 読み解き 考える力養う

月1回、朝の10分間を「NIEタイム」に充てる。新聞記事を基に教諭が作った問題を解いたり、記事を読み自分の考えを書いたり、学年に合わせた活動に全校で取り組み、考える力を養う。

1月のNIEタイムで5年生は、南日本新聞の新聞活用ワークシートに挑戦。鶏卵の価格下落を伝える記事を使った社会科の課題に取り組んだ。新聞を身近に感じてもらう環境づくりも進める。新聞記者を学校に招き、新聞の読み方や情報の正しい伝え方を学ぶ授業を実施。5、6年生26人でつくる情報揭示委員会は月に一度、喜怒哀楽を感じる記事に解説と感想を添えて紹介している。「新聞は表現力や読解力を養う何よりの教材。できるだけ触れる機会を増やしたい」とNIE担当の角屋敷修司教諭。児童が2紙を閲覧できるNIEコーナーも設けている。（濱田朋美）